



—東北生産性本部—

第39回仙台シンポジウム 8月例会開催

テーマ

「参院選および東京都知事選の検証と今後の政局」



■ 8月例会（平成28年8月10日開催）

講師 時事通信社 特別解説委員 田崎史郎氏

プロフィール

中央大学法学部卒業、73年時事通信社入社。

経済部、浦和支局を経て79年政治部、82年自民党担当記者クラブで2年9か月間、田中派を担当。93年政治部次長、編集委員、整理部長、編集局次長を経て06年解説委員長。15年特別解説委員。37年余り、自民党、民主党、公明党、維新の会など幅広く取材。

テレビ出演多数。著書には、「竹下派死闘の七十日」、「安倍官邸の正体 国家権力の中核を解明する」など多数。

『第39回仙台シンポジウム8月例会』は、時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏を迎え、約60名の参加を得て開催いたしました。

講演では、『政治を見る2つの視点。①政治は政治家という人間の営みであるから、その人間性を見る。②政治家はどのような判断をしているかを観察している。政治家は「情」と2つの「利・理」で動いており、情と打算で半分は決めている。正しいかは残り半分。我々の仕事はその政党にとって、何が得なのか損なのか、政治家同士の動き、人間関係を取材するのが大きな仕事。

天皇の生前退位の問題。天皇が記者会見で、摂政制度について強く否定されたり、公務の縮小に対して意味がないという趣旨を話されたが、憲法違反と取られても仕様が内容なので、官邸は記者会見に

は反対していた。体力が弱ってきたから、あるいは続けられないから辞めるというような地位ではない。本人の恣意的行為の気持ちが働かないポストが、天皇制の根幹ではないかと思っているが、恣意的に認めるような法律を作るのが果たしていいか。この問題は議論百出となることから、より慎重に検討すべき。

参院選の結果。自民党は議席3分の2を確保したが、実質は負け選挙で自民党も自覚している。激戦区と言われた1人区10選挙区のうち、9選挙区で競り負けた。理由は野党統一候補の成功で、この参院選は国政選挙におけるパラダイムの転換である。衆院選でも同じことが起こり得ると容易に想像できる。次の選挙で自民党は衆院の3分の2を失うと分かっており、解散時期は先に延びる予想。

自民党の今後の施策は。3つのうち1つは経済再生。緊急経済対策を実施するが、効果に疑問あり。人口減少傾向の中で、さらに若い男性の物欲が低下している。景気が良くなるとは需要が増えること。TPPが1つの方法かと。人や物の動きが12か国の中を自由に行き来するようになる。世界のGDPの4割。人口8億人。日本は1億人相手ではなく、8億人のマーケットで勝負するようになれば需要は増えていくのでは。そういうことからTPPは非常に重要。

2つ目は憲法改正。民進党は9条を変えるなどというが、自民党は9条を変えるつもりはない。例えば衆院解散直後に大震災が起きた場合に、憲法では解散後40日以内選挙と規定。臨時法案では憲法を変えられないので、東日本大震災を機に憲法で規定しようとするもの。また合区の問題は数合わせだけでは無理で、これも憲法改正が必要。

3つ目は、ロシアとの北方領土問題。安倍総理は、プーチン大統領のような強力な指導者の時でしか解決しないし、彼と話ができるのは自分だけと考えている。北方領土問題を解決して、日ロ平和条約交渉に入るという合意が出来たら御の字。そこから交渉に入っていく。その際、日本が切るカードはシベリア開発。ロシアが力を借りるとすれば、中国より日本の方が安心。日本もシベリア開発で新しい需要が生ずるようになる。外国に活路を求める点でTPPとロシアが大きな意味を持っている。

ポスト安倍は誰か。今、目されている人は石破・岸田・稲田と言われているが、安倍総理はもう1~2人作りたい。後継者は1人に絞ると党は弱くなるので、競わせるほどよいと言っている。

最後に自分が政治記者として、一番大切にしていること。それは「政治は川の流れである。」ということ。常に変化し続けているから取材は欠かせない。政治は1+1=2になる世界ではない。一生懸命取材を続けても、今日の話と半年後の状況が全然違うということが起こり得るのが政治である。だから違ったときは「あの時は正しかったが、川の流れが変わったのだから、仕様がでないだ」と思っていたら、私も非常に助かるのである。』と締め括りました。

以上のように、今後の政局について分かりやすく解説いただき、大変有意義な講演会となりました。

平成 28 年度「第 39 回仙台シンポジウム」のご案内

*会場：[仙台商工会議所会館 7 階 大会議室](#)

9 月例会 平成 28 年 9 月 8 日（木）13:30~15:00

『アベノミクスの真偽を検証する』

講師：同志社大学大学院ビジネス研究科教授 浜 矩子 氏

11 月例会 平成 28 年 11 月 2 日（水）13:30~15:00

『最近の事象から見るコンプライアンスの在り方』

講師：中央大学法科大学院教授、辯護士 野村 修也 氏

12 月例会 平成 28 年 12 月 1 日（木）13:30~15:00

『2017 年世界の潮流を読む』

講師：一般財団法人日本総合研究所 理事長 寺島 実郎 氏

*会場は仙台商工会議所会館 7 階大会議室、時間帯は 13 時 30 から 15 時です。参加ご希望の方は、東北生産性本部（TEL 0 2 2 - 2 6 1 - 0 4 1 1）までご連絡ください。